

患者さんへ

東北労災病院大腸肛門外科では、下記の臨床研究に参加しています。研究概要は以下のとおりです。

研究課題名

本邦における腸管型ベーチェット病（含む、単純性潰瘍）に対する外科治療の現状調査

（厚生労働省難治性疾患克服研究、難治性炎症性腸管障害に関する調査班のプロジェクト）

目的

腸管型ベーチェット病と単純性潰瘍は手術治療を必要とすることが多く、術後合併症や再発の確立も高いとされていますが、日本では外科治療についての現状を明らかにした報告はあまりみられません。そのため、外科治療の適応や手術術式、再発、再手術の割合などを調査し、外科治療の現状と問題点を明らかにすることを目的として行います。

対象 腸管型ベーチェット病または単純性潰瘍に対し、手術を行った患者さん

方法

手術の情報やその後の経過や検査結果などについて、カルテより当院研究担当医師が調査用紙に記入し、研究代表機関（当院）に提出します（個人情報は匿名化しますが、生年月については、再発時の年齢などを算出するため、使用させていただきます）。

送付された情報を解析し、厚生労働省のホームページに掲載している難病克服事業における公開や論文として公表されます。

この研究は、厚生労働省難治性炎症性腸管障害に関する研究班の調査研究として実施されますので、研究の概要については下記のホームページに掲載されています。

厚生労働科学研究費補助金「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」班

<http://ibdjapan.org/>

研究期間

倫理委員会の承認が得られてから 2018 年 12 月 31 日まで

研究機関の長：東北労災病院 病院長 徳村 弘実

研究責任者：東北労災病院大腸肛門外科 高橋 賢一

相談窓口：東北労災病院大腸肛門外科 電話 022-275-1111（病院代表）

この研究の対象となる方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）

を入手・閲覧することができます。ご希望の方は、研究責任者へお申し出ください。
また、この研究の対象となる患者さんで本研究への参加を希望されない方は、研究責任者へお申し出いただきますようお願い致します。